



新潟市議会議員

荒井ひろゆき通信

2016年 秋冬
創刊号

発行/荒井ひろゆき
電話/025-278-5312
FAX/025-278-5311

ごあいさつ

皆様こんにちは。早いもので、市議会議員となって一年半が経ちました。
1年目は無我夢中で過ごし、戸惑うこともありましたが、2年目に入ると肩の力も抜け、落ち着いて物事に取り組みやすくなりました。

今まで見えなかったこと、分からなかったことが、よく見え理解できるようになりました。

地域には解決すべき問題が多々あります。すぐに結果

が出たこと、なかなか時間を要すること等様々ですが、何事も自分で動き取り組むことが一番勉強になっていると感じております。

今後益々皆様のお役に立てるよう頑張っていくしますので、お気付きの点、お困りの事など遠慮なくお知らせ下さい。

また、これからもこのように活動の報告も定期的に発信していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

また、これからもこのように活動の報告も定期的に発信していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



2016.2月議会 一般質問

インバウンド誘客の取り組みとU-Jターン推進

質問 訪日客2千万人時代を迎え、東京、京都、大阪などのゴールデンルートから、いよいよ地方への流れが期待されるところであるが、本市はインバウンド(訪日外国人旅行)誘客のためにどのように取り組んでいくのか。

答弁 従来の観光プロモーションに加え、食文化体験型ツーリズムや県内外の自治体と広域観光ルートをつくり交流人口を拡大する。

質問 人口減少対策として本市が注力するU-Jターンを推進していく上で、雇用促進が重要と思われるが、首都圏で就職活動をする人たちと本市企業との仕事のマッチングなどについて、どのような取り組みをおこなっているのか。

答弁 平成28年度はU-Jターン創業者向け補助制度を新設し、希望者に県のUサポートデスクを紹介するなど国や県と連携しU-Jターンを促進する。

2015.9月議会 一般質問

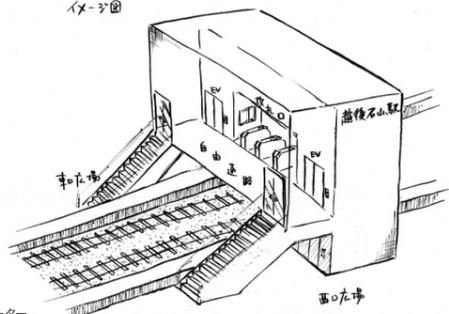
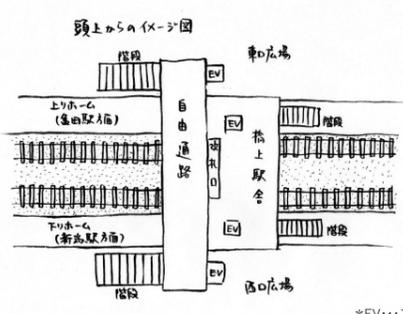
本市の交流人口拡大と越後石山駅の橋上化の早期実現

質問 本市の交流人口拡大に、地域に大きな経済波及効果をもたらすものとしてMICE誘致は有効な手段であるとするが、本市を取り巻く状況が変わる中、大学との連携も含め、どのように誘致を促進していくのか伺う。

答弁 MICE補助の拡充など開催支援の拡充を図るほか、日本政府観光局の各種支援制度も活用しながら、県やMICE関係者と連携し誘致に取り組んでいく。

質問 越後石山駅は、駅前西口広場が完成し、周辺整備も前進しているが、駅舎本体の整備は遅々として進展が見られない。利用者の多い駅の利便性・安全性向上のため、橋上化、バリアフリー化の早期実現を望み、見通しを伺う。

答弁 国の要綱による都市計画決定や東口整備など調査を進めている。関係機関と協議し地域住民の意見を聞きながら事業化に取り組む。



●MICE
企業などの会議(Meeting)、企業などの行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会などが行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の貸した文字。多くの集客交流が見込めるビジネスイベントのこと。

2016.6月議会 一般質問

スポーツの成長産業化とユニバーサルデザインのまちづくり

質問 政府が掲げる「スポーツの成長産業化」は、市場規模が5.5兆円と言われるスポーツ産業を約10年で約3倍の15兆円にしようとするものである。本市もスポーツを核とする地域活性化を図るためいち早く取り組んではどうか。

答弁 東京オリンピック・パラリンピックに向けた合宿誘致など、今後多様な施策を展開し成長産業の一つとして積極的に取り組む。

質問 ユニバーサルデザインによるまちづくりは、障がい者や高齢者、外国からの来訪者などにも配慮したまちとなり、交流人口の拡大や、そこに住む人たちの暮らしやすさの向上につながるため、推進すべきと思うがどうか。

答弁 ユニバーサルデザイン推進計画により取り組んでいるが、東京オリンピック・パラリンピックを契機にししながら、安心協働都市の実現を目指していく。

東区バスの社会実験始まる。が、本格導入に赤信号!?

本格導入には1便平均4人以上の乗車が目標ですが、約2ヶ月過ぎた時点で(実験は約8ヶ月)平均1人程度という結果が出ております。このままでは本格導入されない結果に至ってしまいます。知らないうちにそうならぬよう、是非とも「社会実験中」という“周知徹底”と“利用促進”をお願いいたします。

「紫竹・江南ルート」運行ガイド

平成28年7月29日から平成29年3月31日まで(予定)

紫竹・江南ルートの社会実験を実施しています。

運行日: 毎日運行 *年末年始(12月31日~1月3日)は運休
*12月29日・30日は休日ダイヤでの運行

運賃: 大人(中学生以上)200円 小学生100円
*就学前児 無料 *土曜・休日は小学生50円

*降車時に現金でお支払いください(ICカードでのお支払いはできません)。
*障がいのある方、および65歳以上で運転免許証を返納された方は手帳や証明書の提示で運賃が半額となります。
(詳しくは、東区役所地域課企画係 025-250-2110 にお問合せください)

便数: 平日8便 土曜・休日6便

車両: ジャンボタクシー(乗客定員9人)

*混雑時に定員を超える場合は、小型タクシーを配車して対応いたします。
(上記運賃での対応ですので、安心してご利用ください。)



越後石山駅東口駐輪場が整備されました

新潟方面からの玄関口とも言うべき東口の駐輪場の一角が舗装されておらず、雑草が生え、古い自転車や折れたビニール傘が放置されており、又車止め(バリカー)も通行の妨げになっており、地域の方より困っているという声がありました。そこで写真のようにスッキリと整備し、快適に利用できるようになりました。



荒井ひろゆき プロフィール

●生年月日/昭和42年1月19日 49歳

●略歴

新潟市生まれ。中野山小学校、石山中学校、新潟南高校、関東学院大学を卒業。県内メーカー入社。東京支店勤務。1999年、31歳で東京からUターン。市内ホテル入社。2015年4月に新潟市議会議員 初当選

●所属

保守市民クラブ
総務常任委員会
観光交流促進調査特別委員会
阿賀北広域組合議会議員

2016年4月より副委員長になりました。

よろしく
お願い
します!



●事務所

〒950-0852 新潟市東区東中野山2-3-9
TEL 025-278-5312
FAX 025-278-5311

●自宅

〒950-0852 新潟市東区石山3-6-12
TEL・FAX 025-286-2535
E-mail h-arai119@outlook.jp



活動のご紹介



しゅんせつ 浚渫船「白山」を視察

新潟西港で港湾機能維持の現場を視察しました。

大型浚渫兼油回収船「白山」は、最先端のテクノロジーを駆使し日本海を24時間守り続けています。

“砂の町・新潟”が砂を克服するため、砂で港が埋まらないように、信濃川の河口の砂を取り除いています。

NHK「プラタモリ」でも紹介されました。



石山中学校避難所 合同防災訓練に参加

地域の防災力、危機管理を高めるため、自治会合同の防災訓練に参加しました。

災害時の避難所運営は、施設管理者、行政、そして地域住民の3者が協力して行うことが大切であると認識しました。